

自然保護対策要綱冊子更新業務委託プロポーザル審査基準（配点方式）

| 審査項目 | | 審査の視点 | 評価基準 | | | 配点 |
|------|--------------------|--|------|----|---|-------------------------------|
| | | | 優 | 標準 | 劣 | |
| 1 | 業務理解度 | 仕様書を遵守した上で、業務の目的や作業事項を的確に理解しているかを評価。要綱冊子の趣旨、提供資料の扱い、年度ごとの業務範囲、成果物要件を踏まえた実施方針が明確で実行可能かを確認する。 | 20 | 10 | 0 | 20 |
| 2 | 企画意図・全体コンセプト | 要綱冊子の目的（理解促進・遵守促進）に対する提案の適合性と独自性を評価。ターゲット（住民・事業者）に合わせた表現方針、見開き構成や導線、写真・イラスト活用の全体像が明確で実現性が高いかを確認する。 | 15 | 8 | 0 | 15 |
| 3 | 編集方針・表現方法（わかりやすさ） | 専門的な条例要旨を一般向けに平易に伝える工夫（図解、フローチャート、事例、Q&A等）の具体性、テキストとビジュアルのバランス、アクセシビリティ（文字サイズ等）および読みやすさ向上策を評価する。 | 15 | 8 | 0 | 15 |
| 4 | デザイン・レイアウト提案（提案見本） | 表紙から本文までのデザイン品質、視認性、写真・イラストの配置案、カラー活用、ページ数・構成は仕様に基づき提案された案の妥当性、提出見本（表紙及び本編レイアウト10ページ程度）から実務での再現性を確認する。 | 20 | 10 | 0 | 20 |
| 5 | 写真・イラスト等素材の品質と入手計画 | 写真・イラスト等の点数や構成は提案によることを前提に、撮影方針（現地取材計画含む）、既存資料の活用、素材品質管理（解像度等）とデータ管理体制の妥当性を評価する。 | 10 | 5 | 0 | 10 |
| 6 | 作業工程・スケジュール管理 | 打合せ、取材、原稿作成、校正（3回以上）、色校正、印刷納期までの工程表の具体性と現実性、各工程の期限設定、リスク対策、町との承認フローと連絡体制が明確で遵守可能かを評価する。 | 10 | 5 | 0 | 10 |
| 7 | 制作体制（人的体制） | 担当者の役割分担、当該業務に必要な専門性（編集、撮影、DTP等）の確保状況、担当者の経験や能力の説明、緊急時の代替体制や連絡体制の確保を評価する。 | 5 | 3 | 0 | 5 |
| 5 | 価格評価 | 上限金額 | 見積金額 | | | 評価基準 |
| | | 6,000,000円 | | | | 満点(5点)×(提案価格のうち最低価格/提案者の提案価格) |
| | | | 計 | | | 100 |